

原子力発電所の運転および建設状況

原子力安全対策課 平成11年 6 月 4 日現在

設備容量	運転中	14基	計1145万kW
	建設中	1基	計 28万kW

項 目 発電所名		現 状	稼働率（進捗率）％		概 要
			平成11年度	運開後累計	
日本原子力発電㈱	1号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	7 0 . 2 6 7 . 0	
	2号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	8 4 . 1 8 3 . 5	
核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所		定期検査中	0 . 0 0 . 0	6 6 . 5 6 4 . 9	第15回定期検査(H11.1.8～8月下旬予定) H11.1.8 11' 45" 発電停止。4.3 原子炉冷却材再循環ポンプの分解点検後の試運転時に「B-熱遮へい差圧高」警報が発信。原因は、ポンプ分解点検後の組立作業時に、熱遮蔽装置が主軸に対してわずかにずれた状態で組み込まれたため。
核燃料サイクル開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ		性能試験中 (事故停止中)	—	—	H7.12.8 中間熱交換器(C)2次系出口配管からのナトリウム漏えいに伴い、21' 20" 原子炉手動停止。H10.9.28～H11.9月頃 平成10・11年設備点検。
関 西 電 力 ㈱	1号機	運 転 中	1 0 0 9 9 . 9	4 8 . 5 4 5 . 4	
	2号機	停 止 中	4 8 . 8 4 8 . 0	5 9 . 0 5 7 . 1	H11.4.30 B-1次冷却材ポンプ入口配管の余熱抽出水系取出配管部から漏えいが確認され、18' 45" 発電停止。原因は、配管の曲げ部で一次冷却材の温度が周期的に変動したことにより熱疲労割れが生じたものと推定。対策として、曲げ管部で一次冷却材の周期的な温度変動が生じない形状に変更することとした。
美 浜 発 電 所	3号機	定期検査中	3 2 . 9 3 2 . 6	7 4 . 1 7 2 . 5	第17回定期検査(H11.4.21～7月上旬予定) H11.4.21 1" 発電停止。5.26 主蒸気管の水抜き作業実施中に水撃作用が発生し、油圧防振器9本が損傷した。原因は、水抜き時の窒素注入操作が、連絡・確認の不備により行われなかったためと判明。対策として、損傷した油圧防振器を新品と取り替える。
関 西 電 力 ㈱	1号機	定期検査中	0 . 0 0 . 0	6 1 . 2 5 9 . 9	第15回定期検査(H11.2.19～7月上旬予定) H11.2.19 0" 発電停止。6.3 17' 50" 原子炉起動。 6.4 1' 15" 臨界。
	2号機	定期検査中	0 . 0 0 . 0	6 9 . 9 6 8 . 6	第14回定期検査(H10.8.29～H11.7月中旬予定) H10.8.29 0" 発電停止。H11.1.28 17' 30" 調整運転開始。1.29 20" 制御棒の落下事象が発生したため発電を停止。現在、対策として、制御棒駆動装置全数の内部構成品の取り替えを実施中。
大 飯 発 電 所	3号機	運 転 中	1 0 0 9 7 . 9	8 8 . 7 8 8 . 3	
	4号機	運 転 中	1 0 0 9 8 . 2	8 3 . 4 8 2 . 9	
関 西 電 力 ㈱	1号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	6 3 . 3 6 1 . 6	
	2号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	6 4 . 6 6 2 . 6	
高 浜 発 電 所	3号機	運 転 中	1 0 0 1 0 0	8 4 . 4 8 3 . 9	
	4号機	定期検査中	3 4 . 5 3 4 . 3	8 4 . 7 8 4 . 2	第11回定期検査(H11.4.22～7月下旬予定) H11.4.22 1" 発電停止。5.27 蒸気発生器伝熱管の全数について渦流探傷検査(ECT)を行った結果、伝熱管4本に有意な欠陥信号が認められたため、抜管調査を行うとともに、信号指示が認められた4本の施栓をすることとした。
		合 計	6 5 . 4 6 5 . 5	6 8 . 0 6 8 . 9	(注) 稼働率（進捗率）は、平成11年5月末現在。 累計は、営業運転開始以降。

上段が、時間稼働率=
$$\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$$

下段が、設備利用率 =
$$\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$$